２０１８年　３月　１２日

広島大学長　越智　光夫 殿
広島大学理事・副学長（教育・東千田担当）
宮谷　真人 殿

広島大学教職員組合執行委員長　坂元　国望
同附属学校園諸問題検討委員会　難波　博孝

附属学校園に関する申し入れ書

貴職の日頃の奮闘と当組合活動へのご理解・ご協力に敬意を表します。

さて、附属学校園間の配置換について、今回の人事異動に関する動きを踏まえ、以前からの申し入れに加え、改めて要求事項が生じました。

昨春から秋にかけ、大学と組合は附属学校園間の人事異動について多くの議論を重ね、労使双方にとってよりよい方向を模索してきました。しかし、その交渉結果は今回２月の動きからすると附属学校園支援グループには充分認識されていないのではないかと危惧しています。２月までの期間に予見できる事態に対応するべく制度設計等の見直しや準備をなぜされなかったのか、その点に不信を持っています。

組合は附属学校園間の人事交流について反対の立場ではありません。繰り返しになりますが、労使にとって混乱を排し、よりよい方向を模索するものです。したがって、文書での回答を至急３月１９日までに求めます。その上で、別途団体交渉を求めます。

記

１．２月２２日付回答「内々示について」

本組合からの２月２０日付依頼に対して、片山理事から２月２２日付で「内々示を行った段階であり、異動内容は不確定なものであるため、その情報を提供することは差し控えさせていただきます」との回答をいただきました。しかしながら、大学は組合との間で団体交渉確認書を交わしており、組合は団体交渉確認書の当事者として、大学側が行った行為が確認書に沿ったものであるかどうかを確認する必要性と権利を持っていると考えます。組合に対して、異動対象となる教諭等の個人名を除いた、内々示に関する以下の情報を直ちに提供してください。併せて、確定している内示の情報についても同様に提示してください。

（１）　異動パターンごとの人数　（例：附属福山高等学校→附属高等学校　○名）

（２）　（１）のうち、事前ヒアリングでの異動の希望の有無に基づく人数

２．高等学校から中学校への異動について

２月２６日の要求でも明らかにされているとおり、本異動が行われると教育職本給表（B）から教育職本給表（C）の職務への異動となり、当該者は給与等で不利益変更が生じます。したがって、不利益にはならない対応に関する説明が該当者に十分になされていない現状では、異動を認めることはできません。また、労働者にとって重要な労働条件に対する不利益変更をしてまで異動を行うには「高度な合理性」が必要ですが、それを示す説明がありません。

なお、当組合は 1 年内限りの代償措置は受け入れましたが今後に向けての不利益を解消する協議を継続して求めます。協議では以下項目を求めますが、①のデータは至急示してください。

①高等学校在籍と中学校在籍の場合の 5 年間の賃金比較を提示してください。年代は 30 代、40 代、50 代の種別で仮定します。

②昇給カーブ等について、異動該当者には書面で労働条件の変更事項の確認を行なって下さい。

③今春の該当者以外の構成員にもこのような事例があることを、具体的な賃金変更の情報を含め書面で示してください。

３．全体のこととして、これからの附属学校園の教育・研究、各附属学校園の配置換等人事異動を含めた今後の方針について、改めて構成員に提示するよう求めます。

２０１７年１２月２６日付けの申し入れに対し１月３０日付けで回答いただきましたが、上記の項目については申し入れの主旨をご理解いただけなかったと判断したため、再要求します。

本件は今春の人事異動に大きく関わる内容です。附属学校園の構成員に対してはもちろん、組合に対しては団体交渉の場でも説明を求めます。

（補足説明）

大学側回答は、各年度の学校経営方針等は全学情報共通基盤システム「いろは」の附属学校園のポータルに公開されているというものでした。一方、組合の申し入れは、方針等がホームページ上のどこにあるかを問うものではなく、この間の附属学校園諸問題の交渉の中で大学が丁寧に対応くださったことを高く評価した上で、この良好な関係をもちながら、附属学校園の今後に関わる全般的なことについても構成員に対して直接説明を尽くしてほしい、同時に構成員の質問にも答えながら現場の実情と想いを汲み取った対応をご考慮願いたい、ということを求めたものです。「書面に書いてあります」というレベルの対応ではなく、構成員の理解と協力を得るためにも、大学は構成員への説明と質疑に答える場を積極的に設定していただきたいとの要求です。

附属学校園に関する今後の方針の中で、構成員の生活や労働条件、業務に密接に関係する以下の点については、重点的に説明をしてください。

・再編は今後どうなるのか

・毎年の人事異動は何を基準にして、どの程度の規模で、どのように行われるのか

以　上